

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">社会福祉援助技術演習 I</p>	<p>対象学科・学年 教育教福 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">農野 寛治</p>
<p>授業テーマ</p> <p>直接援助技術（ケースワーク、グループワーク）を展開するために必要な技術を習得する。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>社会福祉援助を行うときの基盤となる面接技術や、生活問題のアセスメントのための技法など、基礎的な援助技術の体得と援助過程の理解を深めることを目的に演習形式の授業を行う。受講者の積極的な参加を前提に授業をすすめる。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席、演習への取り組み姿勢、実技の修得度、筆記試験等によって総合的な評価を行う。</p>		
<p>テキスト</p> <p>特に指定しない。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>『社会福祉用語辞典』</p>	<p>著者 山縣文治他編</p>	<p>出版社 ミネルヴァ書房</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① オリエンテーション…対人援助における専門性とは何か ② 自己覚知のプログラム（1）他者を通じて自己を知る ③ 自己覚知のプログラム（2）自己の中の価値と専門職としての価値 ④ コミュニケーションを考える（1）言語的・非言語的コミュニケーション ⑤ コミュニケーションを考える（2）援助技法としてのコミュニケーション・傾聴と受容等の原則 ⑥ コミュニケーションを考える（3）コミュニケーションのプロセスと認知・感情・行動の扱い ⑦ ケースワーク（1）ケースワーク援助の場の理解・個別場面面接と生活場面面接 ⑧ ケースワーク（2）事例の見立て・エコロジカルアプローチとナラティブアプローチ ⑨ ケースワーク（3）事実を描く・記録の取り方 ⑩ ケースワーク（4）他専門職・他機関とのチームケア ⑪ ケースワーク（5）利用者の尊厳の保持と倫理観 ⑫ グループワーク（1）小集団成立のプロセスとその力動 ⑬ グループワーク（2）プログラム ⑭ グループワーク（3）社会福祉援助技術としてのグループワーク ⑮ 総括・ソーシャルワーカーの役割 		